

# 枚方市学校版環境マネジメントシステム（S-EMS）

## 支援現在までの経緯と今後の活動

平成 30 年 2 月 26 日

### はじめに

枚方市学校版環境マネジメントシステム（S-EMS と以降表示）は P F I 事業の一環として、平成 18 年度から活動を開始しました。

当初は S-EMS 活動マニュアルに沿い審査員が報告書類の審査のため、学校への訪問する形態でスタートしました。

初期の支援活動は、枚方市立幼稚園・小学校・中学校の約 75 校園の温暖化防止活動に沿った省エネルギーのデータ確認等が主な内容でした。当初は教職員の方とテーマが共有出来ておらず環境問題まで話題が進まなかっただけに、学模支援校の教職員の中には時間の無駄だと考えている方もおられたこともあり、学校訪問後すぐに教育委員会への厳しい意見や指摘が入ったこともありました。

平成 20 年頃からは、S-EMS 審査活動と学校訪問支援活動を併用して進めてまいりましたが、教育委員会から同じ団体が審査活動と訪問支援活動を行うことが市民からの不信感につながるのではないかとの指摘もあり、平成 22 年度からは訪問支援活動に専念し、環境総務課（現在の環境保全課）と教育委員会が審査を受け持つこととなりました。

### 経過

平成 20 年度の書類審査スタート当時には、約半数の学校からの提出書類に不備があることが判りました。調査すると書類作成システムに不具合があり、ワードからエクセルへの転記が多く、誤操作による転記ミスが主な原因でした。

平成 21 年度に環境総務課（現在の環境保全課）と枚方市教育委員会の承諾のもとに、S-EMS 支援チームで提出書類の改善を図り、システムの一元化（エクセル書式に統一）に努め、現在の書式が出来ました。結果的に信頼を得ることとなり、平成 24 年度に LP ガスの係数を誤った以外、書類の印刷時等においても大きなトラブルも発生せず順調な書類審査が受審出来ています。

### 活動

平成 21 年からは、環境教育委員会で実施する「S-EMS の学習会」には枚方市 HP に公表されている「枚方市学習環境整備 P F I 事業（要求水準書）」に沿って行なうこと努め、最新の情報提供を含め支援業務を現在も継続して行っています。

平成 23 年は、大阪教育大学で「持続可能な開発のための教育」（ESD）の外部研修を延べ 50 時間受講した成果として、「持続可能性」というキーワードに気づくことができました。

それからは支援研修内容の改善に努め提供できたことで、教職員の方々から多くの共感を得て飛躍的に学校訪問支援活動を受講して頂く教職員が増加してきました。

訪問時に教職員の方から積極的に相談してもらえるようになり、同時期からは研修に参加される教職員は 1 年間で 300 名に達しました。その後も平成 25 年度 330 名・平成 26 年度 382 名・平成 27 年度 420 名・平成 28 年度 425 名・平成 29 年度 434 名と年々増加しています。